

# ソーシャルワーク応用実習指導

[講義・演習] 第4学年 前期 選択 1単位

《履修上の留意事項》4年次に開講されるソーシャルワーク応用実習及びソーシャルワーク応用実習指導を履修予定の学生は必ず履修すること。  
4年次にソーシャルワーク実習及びソーシャルワーク実習指導を履修する学生の履修は実習日程等の点から困難となるため留意すること。

《担当者名》 近藤 尚也 n-kondo@hoku-i-ryo-u.ac.jp ○巻 康弘 志水 幸 福間 麻紀 宮本 雅央 片山 寛信 (主担当、副担当○)

## 【概要】

4年次に実施されるソーシャルワーク応用実習に対する実習指導教育の科目である。さらに、ソーシャルワーク応用実習は実践と研究の視点を深めながら社会福祉実践の統合化を図ることを特色とする。従って、この科目を選択する学生は、「卒業論文」や「現場体験を深める」等の自らの自主的な学習目的と課題をもって実習に臨むことが必要である。

## 【学修目標】

実習分野の特性を説明することができる  
自らが設定した実践的課題に関する振り返りができる  
自らが設定した研究的課題について深めることができる

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	実習課題の具体化 1	・実習課題を具体化することができる ・実習課題に関わる事前知識・技術を習得することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
2	実習課題の具体化 2	・実習課題を具体化することができる ・実習課題に関わる事前知識・技術を習得することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
3	実習課題の具体化 3	・実習課題を具体化することができる ・実習課題に関わる事前知識・技術を習得することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
4	実習課題の具体化 4	・実習課題を具体化することができる ・実習課題に関わる事前知識・技術を習得することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
5	実習打ち合わせ	・実習施設・機関との実習前の打ち合わせを行うことができる ・実習における課題とプログラムを具体化することができる ・実習に関わる事前知識・技術を習得することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
6	実習体験の振り返り 1	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果を説明することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
7	実習体験の振り返り 2	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果を説明することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
8	実習体験の振り返り 3	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果を説明し、グループで意見交換ができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
9	実習体験の振り返り 4	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果を説明し、グループで意見交換ができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
10	実習体験の振り返り 5	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果を説明することができる ・自ら設定した実習課題に取り組みについて、課題の	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		成果を客観的に整理・分析することができる	
11	実習体験の振り返り 6	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果を説明することができる ・自ら設定した実習課題に取り組みについて、課題の成果を客観的に整理・分析することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
12	新たなる課題の整理・検討 1	・実習体験を通じて生じた新たなる課題を明確化することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
13	新たなる課題の整理・検討 2	・実習体験を通じて生じた新たなる課題を明確化することができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
14	新たなる課題の整理・検討 3	・実習体験を通じて生じた新たなる課題への今後の取り組みに向けた検討ができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
15	新たなる課題の整理・検討 4	実習体験を通じて生じた新たなる課題への今後の取り組みに向けた検討ができる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
16	実習体験のまとめ 1	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果や新たなる課題を整理し、記録に整理できる ・実習報告書作成指導	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
17	実習体験のまとめ 2	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果や新たなる課題を整理し、記録に整理できる ・実習報告書作成指導	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
18	実習体験のまとめ 3	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果や新たなる課題を整理し、記録に整理できる ・実習報告書作成指導	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
19	実習体験のまとめ 4	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果や新たなる課題を整理し、記録に整理できる ・実習報告書作成指導	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
20	実習体験のまとめ 5	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果や新たなる課題のプレゼンテーション資料が作成できる (実習報告会準備等)	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
21	実習体験のまとめ 6	・自ら設定した実習課題に対する実習体験を通じた成果や新たなる課題のプレゼンテーション資料が作成できる (実習報告会準備等)	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
22	実習報告会	実習の成果を報告（プレゼンテーション）し、学生、実習指導者、教員の三者で共有できる	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤
23	全体のまとめ	・ソーシャルワーク応用実習のまとめ	志水、巻、福間、宮本、片山、近藤

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

グループ学習への参加態度70%、実習報告書など提出物30%とし、総合的に判断する。

#### 【教科書】

必要に応じてプリントなどを配布する。

#### 【学修の準備】

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。  
実習領域に関連する文献や資料を読むこと。

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.1.3.4.5

#### 【実務経験】

巻 康弘（社会福祉士） 福間 麻紀（社会福祉士） 宮本 雅央（社会福祉士・精神保健福祉士） 片山 寛信（社会福祉士）  
近藤 尚也（社会福祉士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

社会福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。